

宮古島地下ダム資料館

施設管理者：宮古島市

施設所在地：沖縄県宮古島市

調査見学時期：令和7年1月28日（火）

施設概要

宮古島地下ダム資料館は、河川がない宮古島の干ばつ被害の減少、農業生産性の向上などのために建設されている地下ダムについて学べる資料館です。資料館には、「地下ダム建設技術のコーナー」「地下水源コーナー」「農業コーナー」「映像コーナー」など10のコーナーがあり、宮古島の地質構造、地下ダムの建設技術・構造、農業用水システム、実際に現場から採取された琉球石灰岩や深度70mのボーリングコア試料等が展示・紹介されています。

宮古島での「利水・治水」を目的とした地下ダムの特徴や、宮古島の地質構造や帯水層の特徴などについて模型を見ながら学ぶことができ、また、実際のボーリングコアや岩石標本を見ることにより、宮古島の地下ダムについて理解を深めることができました。

また、資料館のすぐ脇には、福里地下ダムの水位水質監視施設があり、コンクリート擁壁の背面に、地下ダムの一部（地中連続壁工法で施工された止水壁）を見ることができます。



地下ダム資料館



福里地下ダム水位水質監視施設
(コンクリート壁背面に止水壁)

※宮古島の地下ダム

宮古島の地質は、不透水層の泥岩の上に透水性のある石灰岩層が載っています。宮古島に降った雨はこの石灰岩層を浸透し、泥岩の上に帯水層を形成しています。帯水層の地下水は海に流出していきませんが、地下ダム（止水壁）を構築することで、地下水の一部を安定的に汲み上げて農業等に利用しています。